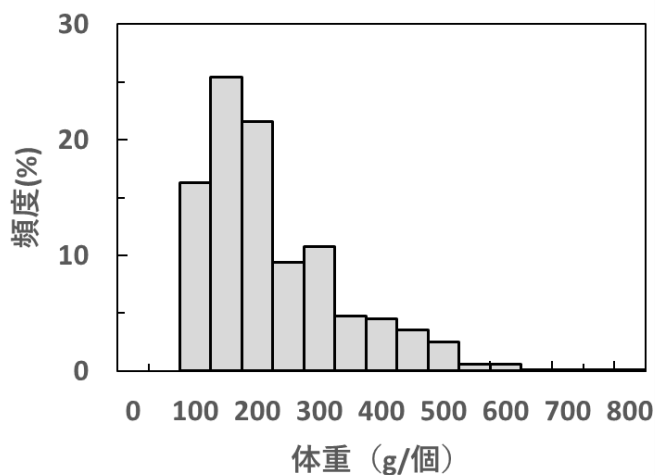


アワビの資源管理について報告しました

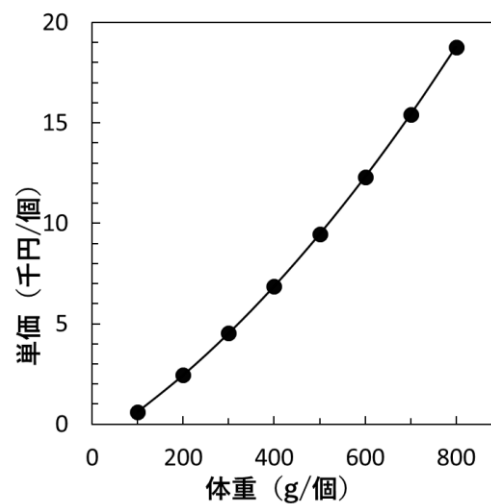
令和5年2月22日に、京都府漁業協同組合舞鶴支所において、令和4年度豊かな海づくりに関する現地研修会が開催(主催: 京都府水産事務所)され、漁業者を中心に39名の出席がありました。

同研修会のテーマは「アワビ類の持続的な利用に向けて」であり、当センターからは、京都府漁協のアワビ類水揚データの解析結果(下図参照)を報告しました。漁獲の7割以上を単価の安い体重300g未満の小型のアワビが占めていたことから、これら小型を保護し、より大型のアワビを漁獲の主体に漁獲することにより、漁獲金額の向上が期待できると提案しました。

研修会終了後に、会場に残っていた漁業者とアワビの資源管理の推進について対話したところ、前向きな反応を得ることができました。



アワビの体重別漁獲状況



アワビの体重と単価との関係